

岐阜県における県立学校 1 人 1 台端末の整備と活用

～「ふるさと教育」の探究的な学びから“未来を創る学び”の模索へ～

岐阜県教育委員会 教育総務課
ICT 教育推進室長 下野 宗紀

1 岐阜県教育委員会の ICT 環境整備の原点

岐阜県教育振興基本計画（第 3 次教育ビジョン）＜令和元年度～令和 5 年度（5 年間）＞における 2 つの大きな柱として『ふるさと教育』と『ICT 環境整備』を位置付け

1 ふるさと教育の充実

- 小・中・高等学校一貫したふるさと教育を推進
- 高等学校においては、ふるさとをテーマとした探究的な学びを推進

→ 高校では、小中学校で学んだ知識をベースに、全県立高校を以下の 4 つのグループ（Ⅰ～Ⅳ）に分け、それぞれ学校の特性に応じて、地域の課題解決に向けて実践《◆は具体的実践例》

- Ⅰ. グローバルな視点で課題を探究する学校
 - ◆ 広く地域活性化を目指して 5 分野から生徒が選択、個人による課題研究【大垣北高校】
 - ◆ 地域の自然環境に関する科学研究と英語指導を併せた課題探究【多治見北高校】
- Ⅱ. 地域に密着した課題を探究する学校
 - ◆ 観光客への地域の魅力発信を通じた地域課題探究活動【益田清風高校】
 - ◆ 地域の希少生物の生態系に迫る科学的な探究活動【多治見高校】
- Ⅲ. 地域とともに活性化する魅力ある学校
 - ◆ 地域課題解決型学習に関する科目を学校独自で多数開講【東濃高校】
 - ◆ 耕作放棄地再生による地域貢献とグローバルで質の高い農業教育を展開【恵那農業高校】
- Ⅳ. 地域の企業等と連携した専門学校
 - ◆ 地元企業の専門家による実践的な工業教育の展開【可児工業高校】
 - ◆ 地元企業・商店と連携し商品開発から販売まで手掛ける商業教育の実践【大垣商業高校】

2 ICT 環境の整備と利活用の推進

- 探究的な学びを推進するための基盤
- 教職員の働き方改革の推進

→ ICT 環境を「探究的な学びを推進するための基盤」と位置付け、県独自に整備スタート

2 岐阜県教育委員会における県立学校の ICT 環境整備の流れ

令和元年度 ICT 環境整備スタート

- ◇ 「電子黒板機能付きプロジェクター」「書画カメラ」「Wi-Fi 環境」「授業用タブレット端末」「ホワイトボードへの張替」
→ これら全てを県立学校の全普通教室と一部の特別教室に整備
- ◇ ICT 活用に関する WG（ワーキンググループ）を県教委職員と教員（5 名）で結成
→ 使用方法や活用事例を紹介した冊子を 2 種類作成し教員に配付

令和 2 年度前半 オンライン学習支援開始

- ◇ 新型コロナウイルス感染拡大による臨時休業下、4 月下旬から全県立学校でスタート
- ◇ 順次、最大で 900 室のオンライン会議室を準備
- ◇ LTE タブレット貸し出し（1, 100 台）により全ての児童生徒が学習支援を受信可能に

令和2年度後半 1人1台タブレット端末環境の整備

- ◇ 県立高校及び特別支援学校の児童生徒(約4万2千人)に配付(※国のコロナ臨時交付金などを活用)
- ◇ 新型コロナウイルス感染再拡大による臨時休業等の場合に、随時オンライン学習支援
- ◇ マイクロソフト365ライセンスを高校生全員に発行
- ◇ 学習支援ソフト“MetaMoJi Classroom”を高校生全員(一部の特別支援学校の児童生徒)に導入
- ◇ 5つの学びのスタンダード制定
 - ①学習プリントや課題、小テストのデジタル化
 - ②動画やデジタルコンテンツを積極的に活用
 - ③グループなどでの探究的な学習に活用
 - ④地域や外部機関などと連携した学習に活用
 - ⑤家庭学習、コロナ禍や非常変災等、個別の対応に活用

令和3年度 1人1台タブレット端末の活用元年

【本年度の目標】

- ◎ 授業や家庭学習など「学び」への端末の効果的な活用
- ◎ 校務のデジタル化による教職員の働き方改革の推進

【ICT推進体制】 ←人的なサポート体制

- 県教育委員会事務局に「ICT教育推進室」を新設

《ICT教育推進室(15名)の任務》

- (1) 学校の取組支援と情報発信・共有
- (2) 教員向け研修の実施
- (3) “未来を創る学び”の研究と働き方改革の推進
- (4) 情報基盤の整備・管理
- (5) GIGAスクール構想への対応

- 県内各地区にICT地区担当教頭・指導主事を配置
→ 定期的に学校を訪問して、各校の取組を支援

【1人1台タブレット端末の活用事例】

- ◆ MetaMoJi Classroom を活用したグループ単位の探究学習【岐阜高校】
- ◆ 1人1台タブレット端末を農場に持ち出し成長を解析する農業実習【大垣養老高校】
- ◆ 新型コロナ対策等におけるオンラインによる家庭学習支援【県岐阜商業高校 他】
- ◆ デジタル化による校務の効率化・簡素化を通じた働き方改革推進【東濃実業高校 他】

3 今後の課題について

【ICT環境面について】

- タブレットの充電器について(持ち帰りか学校保管か)
- インターネット接続環境の充実(岐阜県情報スーパーハイウェイ)
- コンピュータ教室の今後の整備方針

【学びへの活用について】

- 教師や生徒のMetaMoJi や manaba(学習支援アプリ)の習熟
- 産学官連携による“未来を創る学び”の共同研究
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を踏まえて～

【校務のデジタル化について】

- 校務の効率化・簡素化による働き方改革の推進
(IT企業の支援を受けながらモデル校と県教委が連携して検討)

※ご清聴ありがとうございました。ご質問等は所属・氏名をお知らせの上、以下へどうぞ。

岐阜県教育委員会教育総務課 ICT教育推進室 TEL: 058-272-1111 (内線 4973)

E-mail: c17765@pref.gifu.lg.jp